



Now or Never! 今を大切に。

卒業生を送るこの時期に一入の感慨を覚えるのは、矢張り2年間を様々な共有した思いがあるからです。皆さんには短大で過ごし経験したことを基に臆することなく社会、職場に飛び込んで行って欲しい。青年らしい挑戦の気概、好奇心を大いに発揮しつつ傍らには常にデビューしたての新社会人として先輩への敬意と謙虚さを以て臨めば、先輩たちは喜んで教えてくれるものです。高校時代よりも多彩な人々が集まる環境で、自己の存在の確認、強み弱みを認識し、何より人として成長し、学生時代を謳歌されたと確信しています。「敬愛・勤勉・聡明」の理念を卒業後も持ち続け、それを実践、体現してくればきっとあなた方の社会はより良きものになるでしょう。それゆえにこそあなた方は promising youth なのです。

1年生諸姉には短大生活の仕上げとなる次の1年間を存分にやり切って欲しいと願っています。本学で1年間を過ごし、短大での学び—それは生涯に亘る学び方の基礎になるもの、更にそれに留まらない大学生活の醍醐味を味わった筈です。1年の総括の上に、やり残すことがない様に仕上げの年への準備、心構えを新たにして下さい。

本学は本州短大から数え半世紀を過ぎました。その時々々の在學生、卒業生、御父兄、そして教職員の努力の賜物であることに感謝し、次の歴史を皆さんと新たに作っていきましょう。



学長 小池 明



あしたのわたし

幼児教育学科長 町田育弥

附属幼稚園で園歌を制作することになりました。昨夏までに園児や卒園児のご家庭、その他広く一般の方々から歌詞の素材を募り、それをもとに私が作曲することに…。

恵まれた自然環境、生き生きと遊ぶ子ども達の姿、その眼差し、五感を通した学びの尊さ、日々成長する子ども達へのオマージュ、地域の伝統継承への願い…。寄せられたたくさんの言葉に込められた、それら様々な思いをくみ取りつつ歌詞を構成し、別所に伝わる「岳の幟」の神事で子ども達が可憐に舞う「ささら踊り」の旋律を取り入れて今年元旦に作曲。タイトルは「あしたのわたし」。

末永く愛唱していただければ幸いです。



「打ち言葉」の時代

総合文化学科長 大橋敦夫

勤続30年目を迎え、改めて「この30年の日本語」を振り返ってみると、自分が学生だった時とは、明らかな変化に気がつきます。

やはり一番目に付くのは、情報機器の進展です。今やスマホは、社会人のみならず、大学生も必需品と言ってもよいような普及状況です。若年層にあって、固定電話のかけ方・受け方を苦手とする割合も一定の比率を占めているようですし、プライベートでの手紙・葉書のやり取りも、あまり経験が無いようです。

これらは、すべて、スマホ一台で完結する作業で、なるべく面倒を避けたいという心理も無理からぬところでは。

とはいえ、「打ち言葉」全盛の時代であればこそ、手書き・肉声の価値も、相対的に上がるとうもの。手間を惜しまず、学生には、いろいろアナログ時代の「遺産」を伝える努力をしております。

やまほいくの里山プロジェクト & 森の幼稚園見学



やまほいくの里山プロジェクトの一環として伊那市にある森のようちえん「はらぺこ」と安曇野市にある「くじら雲」の視察に参加しました。学生もそれぞれに10名程が参加し、大自然が舞台である幼稚園の日常を観察することで、これまでの保育観を見直す機会にもなりました。子どものより豊かな「暮らし」を考えたとき、子ども自身が自分の目で見つめ、自分の手で物を扱い、自分の心で1つ1つを掴んでいく営みが必要です。教育・保育の営みの中で大切なもの。それは大人が教えることではなく、子ども自身が自ら動き出す瞬間にあること。その一瞬の儂さ、美しさ、力強さが子どもを大きくする。この里山プロジェクトでしか得られない学び合いをこれからも広げていきたいと思えます。



保育実習報告会



10月に北野講堂にて保育実習報告会を開催しました。この時期、2年生はすべての実習を終えたところ、1年生は初めての实習を終えたところです。報告者3名に対し、上田市内の3園の園長先生にその場でアドバイスをいただきました。



幼児教育学科2年
直江津中等教育学校
(新潟県)出身
牧野 悠さん

今回発表の機会をいただき、改めて自らの実習を振り返りました。そのなかで、実習中には気づけていなかった迷い、葛藤する場面にも気づきました。発表の際には、ある事例について焦点をあて、「子どもをひとりの人間として尊重すること」「保育を振り返ることの大切さ」について考察しました。自分の実習を皆さんに発表することはとても緊張しましたが、こうした機会をいただけたことで、実習直後には見えていなかった気づきを多く得られました。とても貴重な経験だったと感じています。また、阿部あゆ美さんの発表、宮田楓さんの発表、質疑応答の内容からの学びも多く、とても有意義な時間となりました。

あそびプロジェクト

共通教育科目「スタディスキル」の一環として、子どもとの関わりを学ぶ「あそびプロジェクト」。学生たちはオリジナルなあそびの企画・立案、あそびに係る制作物の作成、あそびの進行方法を考案します。本学附属幼稚園の園児たちを招き、あそびの説明の後子どもたちを楽しませつつ、時には子どもと共に遊ぶ姿もあり会場は活気に満ち溢れていました。学生たちはあそびの創意工夫や子どもとの関わり方を体験的に学ぶと同時に、仲間と共に協働活動する意義も体得できたようです。



新しい幼稚園、よろしく

附属幼稚園園長 水野美恵

今年度、附属幼稚園は園舎・園庭ともに新しくなりました。建設のコンセプトは“自然”と“つながり”です。木造の温かみのある平屋。各部屋の間仕切りを開けると、全ての部屋が一つの空間になる造りが特徴です。高い天井と、空や森が見える高窓からは明るい光が差し込みます。デッキに立つと山々の稜線や広い空が見渡せます。園庭の遊具も新しくなりました。子どもたちは豊かな自然に恵まれた裏山も遊び場になっています。今年度は地域の資源を活かし、主体的に体験から学ぶ機会を増やしました。

お近くにお越しの際は、どうぞお立ち寄りください。



第29回 新春コンサート

今年の新春コンサートは、幼教音楽コース生、同1年生クラス合唱、同卒業生の発表に加え、総文学生や教員を含む有志による小アンサンブルを取り入れた、今までにないプログラム構成で行われ、今後の新たな可能性を探る第一歩となりました。

また、歌詞の原案を公募していた附属幼稚園園歌の完成披露も行われ、北野講堂は、学生、お客様の唱和する新しい歌の響きに包まれました。



総合文化研究所・大会

6月30日(土)本学21番教室で総合文化研究所・大会が開催されました。今回のテーマは、「上田の先覚者、赤松小三郎」で、幕末に活躍した上田藩の洋学者・赤松小三郎に焦点をあてたものでした。赤松の洋学史的業績について、本学大橋敦夫教授による基調講演があり、その後、赤松の生涯を描いた紙芝居を有志の学生が朗読しました。



総合文化学科2年
北部高校出身
徳竹 梨絵さん

大会では、総合文化学科の学生4人が「上田生まれの赤松小三郎さん」の紙芝居をよみました。わたしはそれまで赤松小三郎のことは知らなかったのですが、自分が学んできたことを多くの人に広め、日本の平和と新しい国づくりのために頑張ってきた人が上田にいたことに驚きました。赤松小三郎についてもっと多くの人に知ってもらいたいと思いました。紙芝居はわかりやすく、楽しみながら赤松小三郎について知ることができるので、紙芝居から赤松小三郎に興味を持つ人が増えると嬉しいと思いました。

東京研修旅行



11月20日から1泊2日で東京研修旅行が実施されました。昨年の古都鎌倉研修では、11月にも係わらず出発する日の朝に積雪があり、今年も天候が心配されましたが、2日間とも好天に恵られました。1日目の東京ディズニーリゾートではホスピタリティ研修、2日目は各グループで設定したテーマを基に東京を散策しました。予め計画した行程通りに行動できるかどうか、計画性や段取り力、行動力が試されるいい機会になったのではないかと思います。予定通りだったグループもそうでないグループも、学生時代の楽しい思い出となったことでしょう。



学海ハイク



5月12日に総合文化学科の行事として学海ハイクを行いました。当日は天候にも恵まれました。別所温泉駅に集合後、安楽寺・常楽寺を巡り、北向観音へと向かいました。初めて別所温泉に来たという学生が地元出身者の中にもいました。こうした行事によって地元を知るチャンスになったことでしょう。また、たまたま当日は別所線の7200系という電車がラストランだったため、電車内は女子学生と、カメラを持った鉄道マニアでいっぱいでした。



卒業研究発表会

2年間の学びの集大成として、総合文化学科の卒業研究発表会が開催されました(1月28日於、森の教室)。

小池学長ご臨席のもと、各ゼミの代表者6名による発表を、学科全員で聞きました。

今回からは、1年生に向けて、「卒業研究ガイダンス」も行われ、新年度からのゼミでの研究テーマの解説もありました。



学海祭 ～ダンスイベント～



幼児教育学科2年
長野清泉女学院
高校出身
半田 理子さん

本学最大のイベント「学海祭」の実行委員長を務めました。第45回学海祭では、「Action～311人で紡ぐストーリー～」というテーマを掲げ、みんなで作り上げる上田女短らしい文化祭を目指し頑張ってきました。初の試みとなるバザーや、合同露店、第2回目となるダンスイベントなどを企画し、幼児教育学科、総合文化学科と一緒に盛り上げていけるように、私たち実行委員会も沢山悩み、話し合いました。地域の方や幅広い年齢層の方にも楽しんで頂けるように、そして私たちも負けないうくらい楽しみながら準備を進めました。役員の皆さん、全学生の皆さん、先生方のご協力無しでは成功できなかったことばかりでした。こんな素晴らしい経験と最高の思い出ができて感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。是非来年も最高の学海祭を作ってください!!



ボランティア活動

ブライダル研究サークルMIP

MIP は毎年 10 月に「うえだはら敬老園」、2 月には千曲荘病院デイケア「チャンス」への訪問を続けています。毎回、学生たちは「テーマ」を決めてブライダル中心の“ファッションショー”をお届けしており、両施設の皆様にたいへん喜んでいただいています。特に敬老園の女性利用者さんの中にはショーを見て涙ぐむ方も…今後も工夫して素敵なショーをお届けします♪



芸術の森 北野講堂 シリーズ

2018 年は、TRIO AEOLOS による『melodica meets classics～鍵盤ハーモニカ・ヴァイオリン・チェンバロの異色コラボレーション～』を開催。異色の組み合わせながら調和のとれたハーモニーが、観客を魅了しました。

「ブランデンブルク協奏曲」では、幼児教育学科 1・2 年生 4 名が電子ピアノで、町田教授がピアノで共演しました。200 名を超えるお客様の中、プロの演奏家との共演は学生にとってたいへん刺激となり、幸せな時間を過ごすことができました。



事業所見学会について

9 月 13 日、天候にも恵まれ大型バス 2 台に分乗して事業所見学会を実施しました。学生一人ひとりの職業意識・職業観を高めることを目的として、(株)アルプスツール、県立長野図書館、ホテルメルパルク長野、トヨタリグループ本社、上田信用金庫本店を 2 つのコースに分かれて見学、説明していただきました。各事業所において本学卒業生が生き生きと活躍している姿に大いに刺激を受けながら、一年後の働く自分を思い描くことができましたものと思われま



資格報奨金授与者

- MOS試験マイクロソフト・オフィス
スペシャリストマスター 30,000円
総合文化学科2年(岩村田高校出身) 清水 鈴夏さん
総合文化学科2年(岩村田高校出身) 矢野 萌華さん
- ヤマハ演奏グレード5級 30,000円
幼児教育学科2年(高田高校出身) 古川 真侑さん
- 秘書技能検定試験2級 10,000円
総合文化学科2年(小諸高校出身) 秋山 莉乃亜さん
総合文化学科2年(上田千曲高校出身) 大澤 円さん
総合文化学科2年(上田東高校出身) 谷 陽菜さん
総合文化学科2年(市立長野高校出身) 山岸 美月さん
- 医療事務技能審査 10,000円
総合文化学科2年(小海高校出身) 有井 信乃さん
総合文化学科2年(屋代南高校出身) 中島 明日香さん
総合文化学科2年(小諸高校出身) 倉島 穂乃香さん
- MOS試験ワード・エクセル・パワーポイント 10,000円
総合文化学科2年(上田千曲高校出身) 中澤 愛美さん
総合文化学科2年(梓川高校出身) 宮坂 実季さん
- 日商簿記検定3級 10,000円
総合文化学科2年(高田商業高校出身) 石田 里奈さん
総合文化学科1年(丸子修学館高校出身) 西澤 成美さん
総合文化学科1年(上田東高校出身) 藤澤 明日香さん

資格を取得された皆さん
おめでとうございます!!

図書館講座

平成30年度図書館講座を行い、子どもから大人までたくさんの方々に楽しんでご参加いただきました。

第1回

「新潟市の学校図書館と学校図書館活用推進校事業」

新潟市立大通小学校校長・上澤田誠先生をお迎えし、学校図書館を活用した教育の実践と、その大切な環境としての図書館のあり方について、新潟市の事例を基にお話いただきました。



第2回

「絵文字を習って壁掛けや置物を作ろう」

総合文化学科・宮田暉朗教授にご指導いただき、各人が好きな象形文字を石や紙粘土などに書いて、壁飾りや置物を作りました。ユニークで素敵な作品が出来上がりました。



編集後記

皆さんにとって「平成」とはどのような時代でしたか。学生の皆さんにとっては、たくさん遊び、学び、成長し、羽ばたく準備をしてきた時間だったのではないのでしょうか。

新しい時代が始まります。2年生にとっては、新しい世界へ第一歩を踏み出す記念の年となりますね。自分の持っているものを存分に輝かせてください。皆さんの活躍を応援しています。(笑)



学校法人 北野学園

上田女子短期大学

幼児教育学科 / 総合文化学科



上田女子短期大学通信のバックナンバーはこちら

〒386-1214 長野県上田市下之郷乙260 TEL0268-38-2352(代) FAX0268-38-7315 E-mail adoffice@uedawjc.ac.jp
入試事務室 0120-375901 <http://www.uedawjc.ac.jp>